

# 平成21年3月期 中間決算資料

平成20年11月16日

## 北陸ミサワホーム株式会社

JASDAQ 1763

本決算資料において記述されております業績予想につきましては、現時点において予測しうるデータに基づき当社が判断した予想であり、潜在的リスクや急激な社会情勢の変化等による不確実性が含まれております。よって本資料とは違った業績予想となる可能性があることを予めご承知おき下さい。

# 平成21年3月期 中間決算概要

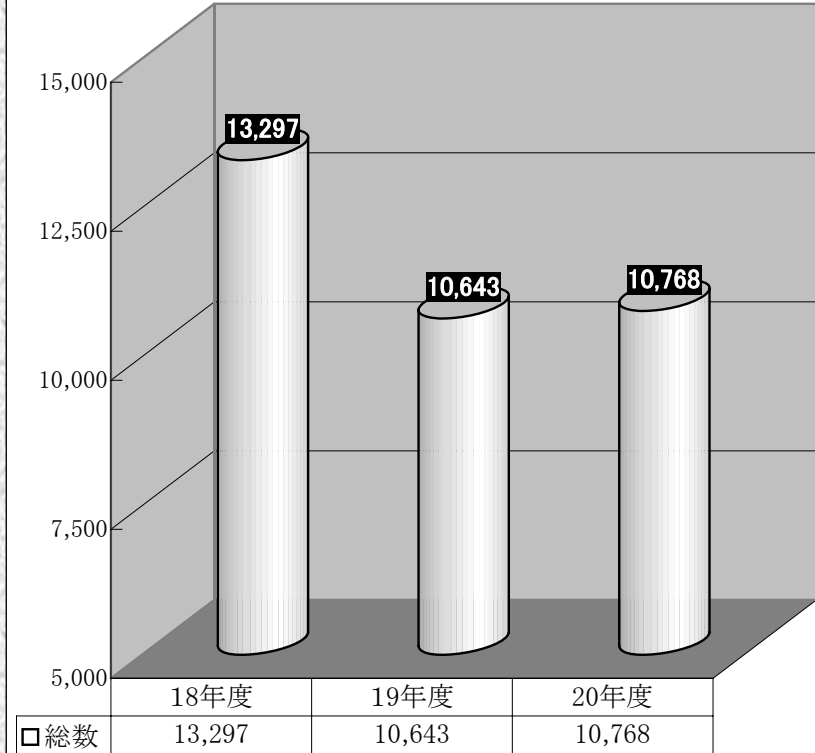
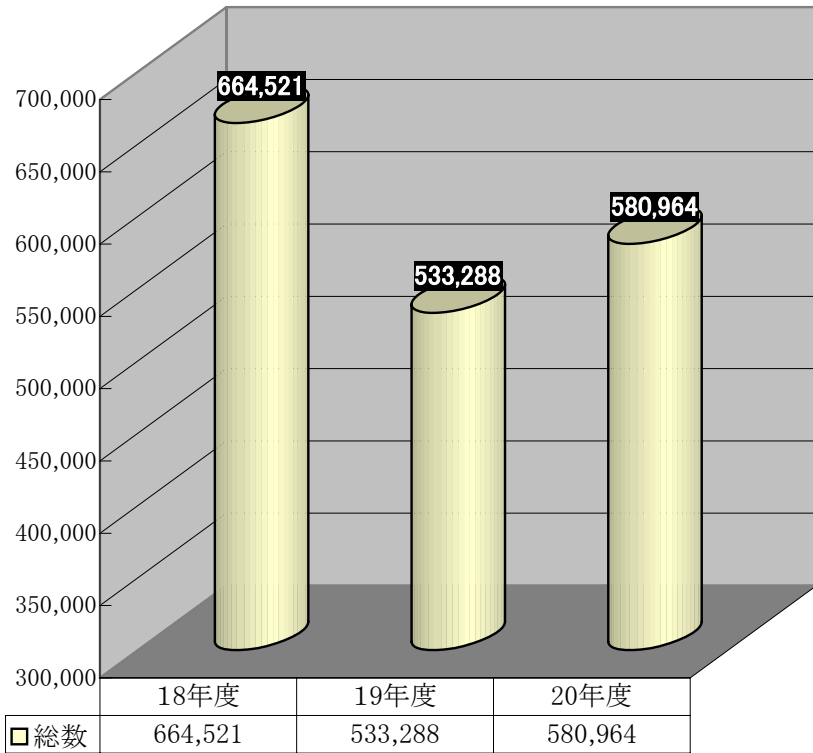
# 住宅着工戸数推移

全国

北陸3県

全国住宅着工戸数(4月～9月)  
3年間 の推移 (国土交通省建築着工統計調査より)  
単位:戸

富山・石川・福井 住宅着工戸数(4月～9月)  
3年間 の推移 (国土交通省建築着工統計調査より)  
単位:戸

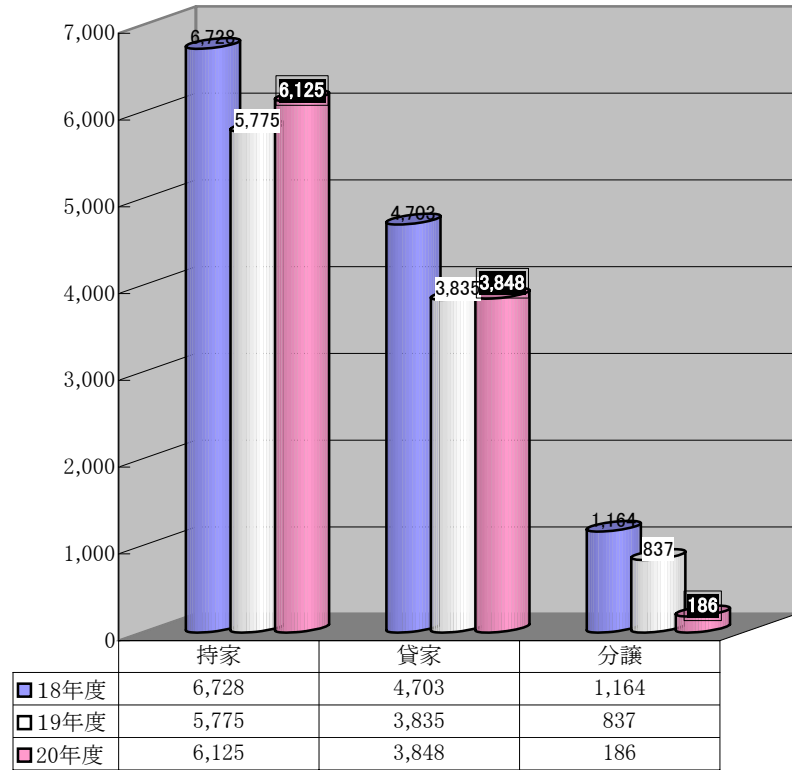


# 北陸3県 住宅着工戸数推移

## 北陸3県住宅着工推移

富山・石川・福井 4月～9月 住宅着工戸数内訳  
3年間の推移 (国土交通省建築着工統計調査より)  
単位:戸

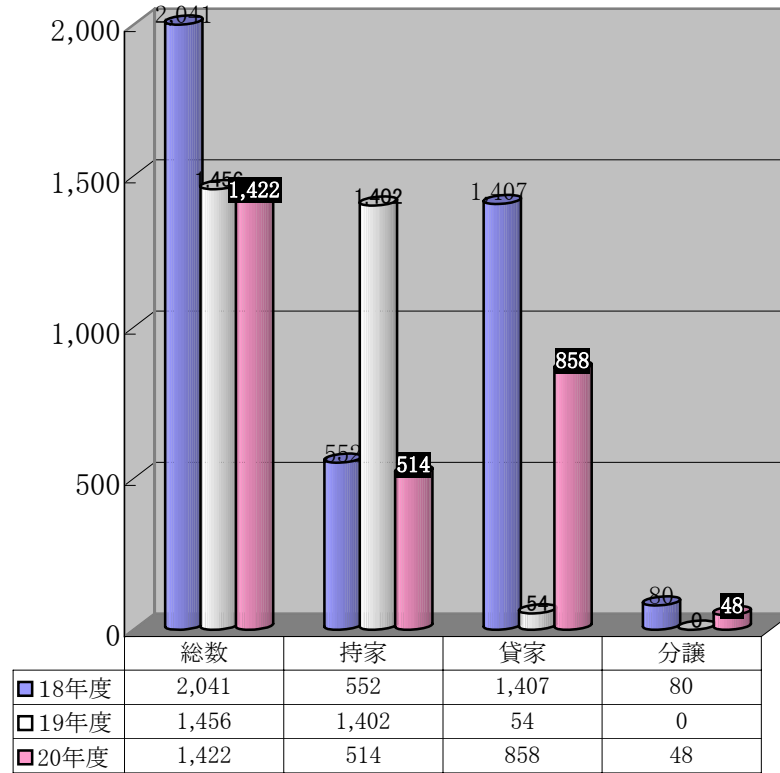
■ 18年度  
□ 19年度  
■ 20年度



## 北陸3県 プレハブ住宅着工推移

富山・石川・福井 4月～9月 プレハブ住宅着工戸数内訳  
3年間の推移 (国土交通省建築着工統計調査より)  
単位:戸

■ 18年度  
□ 19年度  
■ 20年度



## 平成21年3月期中間の総括

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格を発端に各原材料価格の高騰が続いたことに加え、世界的な金融市場の混乱も長期化していることにより、景気の減速感に下げ止まり感が見えず、不透明感が一段と強まることとなりました。

住宅業界におきましては、地価の下落率の縮小がみられますが、当第2四半期連結累計期間の新設住宅着工戸数は、昨年の改正建築基準法による落ち込みの反動により前年を上回ったものの、当社営業エリアである北陸地方においては、プレハブ住宅の着工戸数は回復の傾向も見られず、企業の収益悪化による所得環境への不安や物価の上昇・株価の下落など、業界を取り巻く環境は依然厳しさを増しております。

こうした状況の中、当社は創業40周年キャンペーンとして「未来環境宣言」と題し、ヒートポンプシステムを使った電気給湯器「エコ・キュート」を全棟標準採用いたしました。これによりCO2削減を進めるとともに地球環境にやさしい暮らしを推進しております。

販売におきましては、独自商品である「自遊考房」や「スマートスタイルO40北陸」、「別居型同居®の家」の積極販売を行い、また全国キャンペーンでもある「有効空間拡大の法則」をキャッチフレーズに、大収納空間「蔵」の販売を展開してまいりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、二世帯住宅販売が好調であったこと、また前連結会計年度下期から連結子会社となったミサワホームイング北陸(株)の業績が上積みとなったため、売上高は32億64百万円となり、利益につきましては営業利益25百万円、経常利益42百万円となりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用したこと等により、58百万円の特別損失を計上したため、当四半期純損失は24百万円となりました。

## 平成21年3月期 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

(単位:百万円)

売上高30億88百万	平成20年 3月期	平成20年 9月期	増減		平成20年 3月期	平成20年 9月期	増減
<b>流動資産</b>	4,079	4,457	377	<b>流動負債</b>	1,994	2,458	464
現金及び預金	3,081	3,237	156	仕入債務	1,021	1,286	264
売上債権	202	253	51	短期借入金	429	459	30
たな卸資産	631	678	46	未払法人税等	0	33	32
繰延税金資産	49	65	16	未成工事受入金	279	314	35
その他流動資産	162	239	77	その他	262	364	101
貸倒引当金	—	△ 18	29	<b>固定負債</b>	406	388	△ 17
<b>固定資産</b>	1,929	1,877	△ 51	長期借入金	119	85	△ 34
有形固定資産	1,721	1,678	△ 43	その他	286	302	16
無形固定資産	16	14	△ 1	<b>負債合計</b>	2,401	2,847	446
投資その他の資産	191	183	△ 7	<b>純資産合計</b>	3,607	3,487	△ 119
<b>資産合計</b>	6,008	6,334	326	<b>負債・純資産合計</b>	6,008	6,334	326

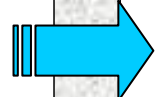
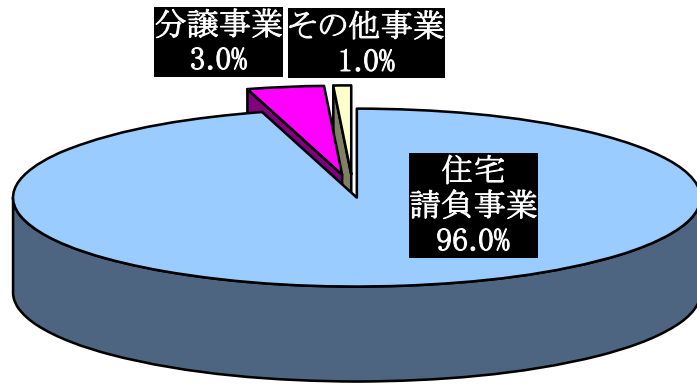
## 平成21年3月期 中間連結損益計算書

受注環境は厳しい状況が続き、売上高30億88百万円、営業利益80百万円 (単位:百万円)

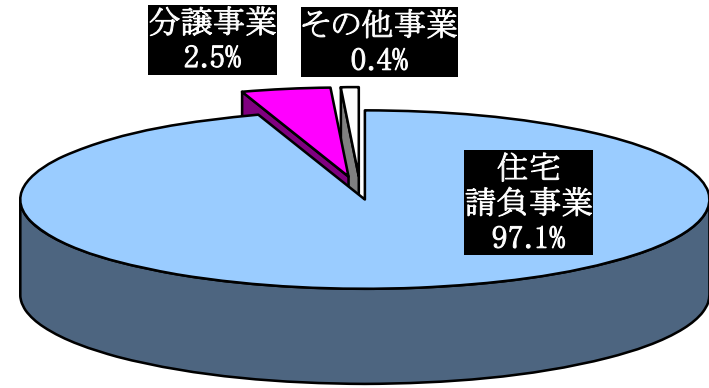
	平成19年9月期	平成20年9月期	増減
売上高	2,930	3,264	333
売上総利益	520	597	76
販売費及び一般管理費	524	572	47
営業利益	△ 4	25	29
経常利益	2	42	40
特別利益	—	2	2
特別損失	520	58	△ 461
純利益	△ 685	△ 24	660

# 売上構成比の比較

平成19年9月期



平成20年9月期



## セグメント別分析

### 〈住宅請負事業〉

受注環境は厳しい状況が続き、売上高30億88百万円、営業利益80百万円となりました

### 〈分譲事業〉

分譲住宅の販売は順調に推移しましたが、売上高1億54百万円、営業損失8百万円となりました。

### 〈その他の事業〉

不動産の仲介等による手数料の増加により、売上高20百万円、営業利益10百万円となりました。

平成21年3月期 業績予想

北陸ミサワホーム株式会社

## 当社の経営方針・業績予想

### 【当社の経営方針】

当社グループは、「住まい3代・100年のおつきあい」を基本姿勢として、お客様に単に住まいを提供するだけでなく、地域の特性に合った住まいづくりを提案して、向かい合う全ての人々に対し、企業理念である「人の喜びをもって、我が喜びとする」を強かに押し進めて社会に愛され、地域社会に貢献できる企業を目指しております。

### 【平成21年3月期の業績予想】

今後の経済情勢としましては、地方経済を取り巻く環境は引き続き予断を許さぬ状況で推移するものと受け止めております。また個人消費の伸び悩みやサブプライムローン問題の影響は景気の先行きに楽観を許さぬ状況にあります。

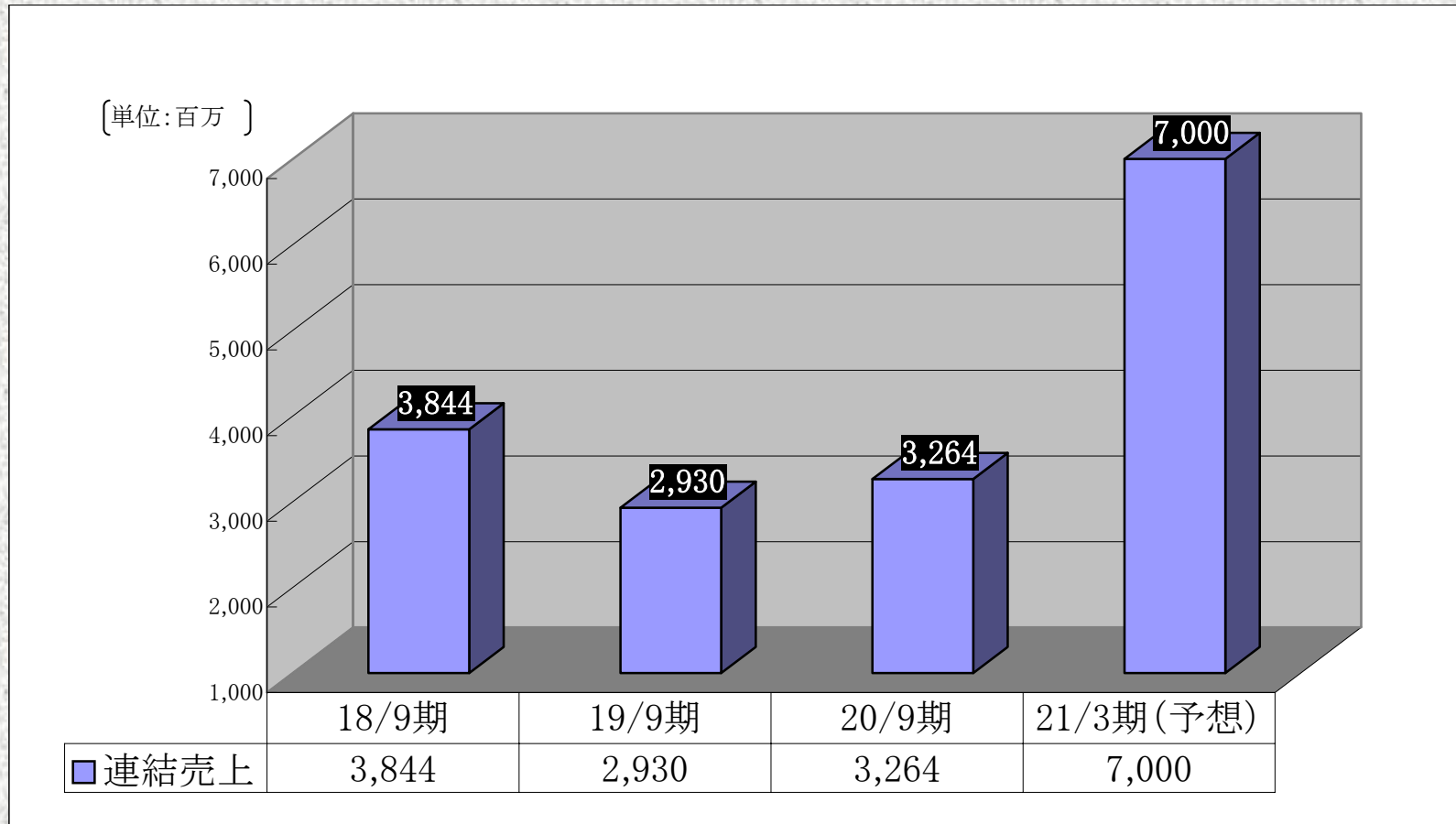
当社におきましては、これまで主力商品であった戸建住宅に加え、リフォーム事業、資産活用事業、鉄骨系住宅事業(ハイブリッド)及びまちづくり分譲事業を新たな経営基盤とし、積極的に営業計画を押し進めようとしております。

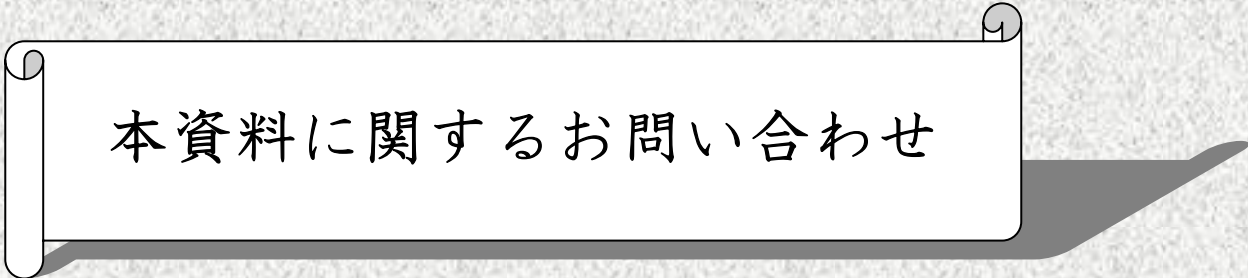
以上の販売推進・展開をすることにより、業績の予想は、連結売上高70億円、連結営業利益65百万円、連結経常利益90百万円、連結純利益65百万円を見込んでおります。

(単位:百万円・%)

	平成20年3月期	平成21年3月期(予想)	前年同期比(予想)
連結売上高	6,422	7,000	9.0
連結経常利益	25	90	246.7
連結純利益	△ 628	65	-

## 売上の推移（予想）





本資料に関するお問い合わせ

北陸ミサワホーム株式会社  
本社 総務部

TEL : 076-222-1558  
e-mail : [hokurikumisawa@basil.ocn.ne.jp](mailto:hokurikumisawa@basil.ocn.ne.jp)